



春休み特別貸し出しスタート！3/11(金)から

返却日：4月11日(月) 冊数：1人15冊まで



普段は勉強や部活で忙しくて本を読めない！という人も、この機会にゆっくり読書を楽しんでみませんか？

年度末・年度始めの開館スケジュール

2022年3月			2022年4月		
14	月	○通常開館	1	金	×新年度準備のため閉館
15	火	○通常開館	2	土	×休業日
16	水	△午後閉館	3	日	×休業日
17	木	△午後閉館	4	月	×新年度準備のため閉館
18	金	×合格者登校日(閉館)	5	火	×新年度準備のため閉館
19	土	×休業日	6	水	○通常開館
20	日	×休業日	7	木	△始業式(午後閉館)
21	月	×休業日	8	金	○通常開館
22	火	○通常開館	9	土	×休業日
23	水	○通常開館	10	日	×休業日
24	木	△終業式(午後閉館)	11	月	○通常開館・特別貸出返却日
25	金	△午後閉館	*3月中に借りた本は、4月11日(月)にすべて返却して下さい。 *日程に変更がある場合は、図書館前に掲示してお知らせします。		
26	土	×休業日			
27	日	×休業日			
28	月	×館内整理のため閉館			
29	火	×館内整理のため閉館			
30	水	×館内整理のため閉館			
31	木	×館内整理のため閉館			

西高図書館で 予約の多かった本

◆2021年度◆



1位 『兇人邸の殺人』

今村昌弘/著(東京創元社)

2位 『invert 城塚翡翠倒叙集』

相沢沙呼/著(講談社)

『硝子の塔の殺人』

知念実希人/著

(実業之日本社)

『透明な螺旋』

東野圭吾/著(文藝春秋)

など6冊

『屍人荘』『魔眼の匣』に続く、「屍人荘の殺人」シリーズの第3作目が1位です。2位の6作中、3作品がミステリー作品となりました。ミステリーはじっくり読みたい人が多いからでしょうか？



西高図書館でいちばん 借りられた本 ◆2021年度◆



1位！



3位！

ノンフィクション
の人気作品

1位 19回 『52 ヘルツのクジラたち』 町田そのこ/著(中央公論新社)

2位 17回 『推し、燃ゆ』 宇佐見りん/著(河出書房新社)

3位 16回 『オルタネート』 加藤シゲアキ/著(新潮社)

外国文学からは
こちらが入りました



昨年の『流浪の月』に続き、今年も本屋大賞受賞作が堂々の1位！ 2位、3位も本屋大賞2～10位ランキング作品で、注目ぶりを伺わせます。外国文学からは『一九八四年』(ジョージ・オーウェル/著)が9位にランクイン。また、小説以外のジャンルからは、同じく9位に『スマホ脳』(アンデシュ・ハンセン/著、新潮社)が入りました。こちらは、年間通して、とても問い合わせの多かった話題の新書です。

表紙が赤い本、集めました。



図書館内「9 文学（書架番号 10～11）」のそばで、「赤の本棚」展示中です。ジャンルは問わず、ひたすら赤色の本を集めてあります。

たまには気分を変えて、「色」から本を手にとってみてほしいかも！？

ふたたび 新書 を読もう

～ブックレポートのための新書案内～



春休みの課題で新書のブックレポートを書く2年生の皆さん、もう読む本は決めましたか？

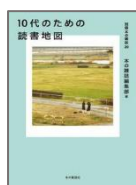
図書館中央の「新書・評論文コーナー」でミニ展示をしていますので、参考にどうぞ。

自分の進路に関係する分野や課題研究のテーマに関連した本など、普段読まない本にも春休みにトライしてみてください。

新着図書ピックアップ

『10代のための読書地図』

本の雑誌編集部／編(本の雑誌社)



書評誌「本の雑誌」が10代へ贈るブックガイド。定番の「恋愛」「学校」などのジャンル別おすすめ本のほかに、「ダメだけどカッコいい」「太宰治以上に“人間失格”な本」など、ちょっと変わった特集テーマも。本好きのためのハローワークや本関連の用語集も付いてます。

『「日本」ってどんな国？』

本田由紀／著(筑摩書房)



家族、ジェンダー、学校、友だち、政治・社会運動など、様々な分野の統計データを国際比較することで、日本社会の問題について考えてみよう。

『はじめての。』 島本理生ほか／著(水鈴社)



宮部みゆき、辻村深月ら4人の直木賞作家と、音楽ユニット「YOASOBI」がコラボレーションした短編集。「はじめて〇〇した物語」をテーマにした4つの短編が収録され、作品をもとにした楽曲も発表予定だそうです。

『元彼の遺言状』 新川帆立／著(宝島社)



「僕の全財産は、僕を殺した犯人に譲る」。残された奇妙な遺言状から始まる、リーガル・ミステリー。4月からドラマ化されます。今のうちに原作をどうぞ！

『さよならの言い方なんて知らない。6』

河野裕／著(新潮社)

1年ぶりの「架見崎シリーズ」、最新刊。



『最後の晩ごはん 後悔とマカロニグラタン』 榎野道流／著(角川書店)



「ばんめし屋」が舞台のシリーズ。今作は後輩・李英とのエピソード。



『イースター島 不思議大全』

芝崎みゆき／著(草思社)

モアイ像にまつわる様々な謎や、島に伝わる伝説など、イースター島のあれこれを絵解きする。同じ作者の『古代インカ・アステカ』本もあります。



『少女を埋める』 桜庭一樹／著(文藝春秋)

小説家の「わたし」は、父を看取るためにコロナ禍の鳥取へ帰省する。表題作「少女を埋める」と作品発表後の騒動を描いた続編「キメラ」を収録した、鳥取県出身の桜庭一樹が初めて書く私小説的作品集。



『フードテック革命』

田中宏隆ほか／著(日経BP社)

「代替肉」「キッチン OS」「パーソナライズドフード」「移動型レストラン(自動販売機 3.0)」「フードロボット」「次世代コンビニ」など、世界最先端のフードビジネスを徹底解説。



『ちはやふる 48』

末次由紀／著(講談社)

名人戦・クイーン戦とも、勝負は運命の第5戦へ。千早と新、ふたりの挑戦の行方は？ なんと！ 次巻で完結です！



『生きのびるための「失敗」入門』

雨宮処凛／著(河出書房新社)

誰だって、失敗することはある。作家・あさのあつこ、臨床心理士東畑閑人など、7人が語る「大人の失敗談」。

新着図書の一覧は、校内からは西高図書館蔵書検索のページから見られます。学校外からは、鳥取西高公式ホームページの図書館のページからご覧ください。

URL=https://cmsweb2.torikyo.ed.jp/toriw-h/index.php?page_id=43

